

中花たちばな

『夢や目標に向かい、自分とふるさとの未来を切り拓く子』

豊岡市立豊岡南中学校学校だより

令和7年12月24日

No.9 生徒数 545 名

コミュニケーション教育（演劇的手法を取り入れた授業）について



今から約10年前の2015年に、イギリスのオックスフォード大学の研究チームが、AI（人工知能）の飛躍的な進化により、20年後には現在ある仕事の47%が、AIに取って代わられるという論文を発表しました。

また、学習指導要領においても、今後の社会変化の一つとしてAIの飛躍的な進化を挙げ、学校教育において人工知能ではできない「人間ならではの強み」を発揮できるようにしていくことを求めています。その人間ならではの強みというのは、人工知能がいかに進化しても、感性を豊かに働かせながら、どのような未来をつくっていくか、どのように社会や人生をよりよいものにして

いくかを自分で考えること、そして、答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解や最適解を見いだすことです。

コミュニケーション教育（演劇的手法を取り入れた授業）は、演劇をつくることを目的としていません。演劇をつくる時に、「話し合い、結論を出し、そしてそれを伝える」というグループ活動を大切にしています。このグループ活動では、「相手が何を望んでいるかを考えること」「相手を理解しながら自分の考えを伝えること」いわゆる折り合いをつける話し合いをしています。

演劇的手法を取り入れた授業のプログラムには、「人間関係の難しさ（無作為に組まれたグループ）」

「お互いに理解することの難しさ」「時間内に作業を終える難しさ」など様々な困難が仕組まれています。この困難があるので、失敗をしながらも、お互いに意見を交わし、折り合いをつけ、合意しながら乗り越えようとすることができます。

このような経験を通して生徒のコミュニケーション力を伸ばすため、小6と中1で演劇的手法を取り入れた授業を行っています。

本校では、12月8日(月)と10日(水)に、1年生がコミュニケーション授業に取り組みました。



ありがとうございました

今学期は、体育祭や南陵祭、各学年行事などさまざまな行事を実施しました。生徒たちは、仲間と協力し主体的に行事に取り組むなど大いに成長した学期でした。私たち教職員も、生徒たちのがんばりから多くのことを学ぶことができました。

3学期も、よりいっそう信頼される学校を目指して、全力で取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

皆さま、どうぞよいお年をお迎えください。

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただきましたご意見は、今後の教育活動の改善、充実にいかすとともに、「より信頼される学校」を目指してまいります。結果については、ホームページに掲載（3月予定）しますのでご覧ください。